

# 茂原市リサイクル推進委員会会報

## 会長あいさつ

茂原市リサイクル推進委員会  
会長 露崎 皓久

皆様、平素より当委員会のリサイクル推進活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。皆様の協力添えをいただき、着実にリサイクル意識の向上と、持続可能な社会の実現に向けた活動を進めることができっております。

さて本年度は、新たな取り組みとして、ペットボトルキャップの回収を実施しています。これまでペットボトルキャップは、可燃ごみとして捨てられていました。しかし、この取り組みによって、ごみの減量化や再資源化につながっています。私たちの取り組みは、小さな行動の積み重ねです。その一つひとつは小さな行為かもしれませんが、地域全体で続ければ、必ず大きな力となり、持続可能なまちづくりへとつながっていきます。現在、市役所や本納支所、各福祉センターなどの市公施設で拠点回収を行っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後とも、皆様と共にクリーンで持続可能な未来を築くために邁進してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 総会表彰

- ◎市長表彰
  - ・(個人) 住田 正雄様 (二宮地区)
- 主な功績
  - リサイクル推進委員会 委員
  - 平成19年から令和6年まで
  - リサイクル推進委員会 理事
  - 平成25年から令和6年まで
  - リサイクル推進委員会 会計
  - 令和4年から令和6年まで

- ◎リサイクル推進委員長表彰
  - ・(個人) 渡邊 光様 (二宮地区)
  - ・(個人) 林 敏夫様 (鶴枝地区)
  - ・(個人) 北野 高史様 (五郷地区)



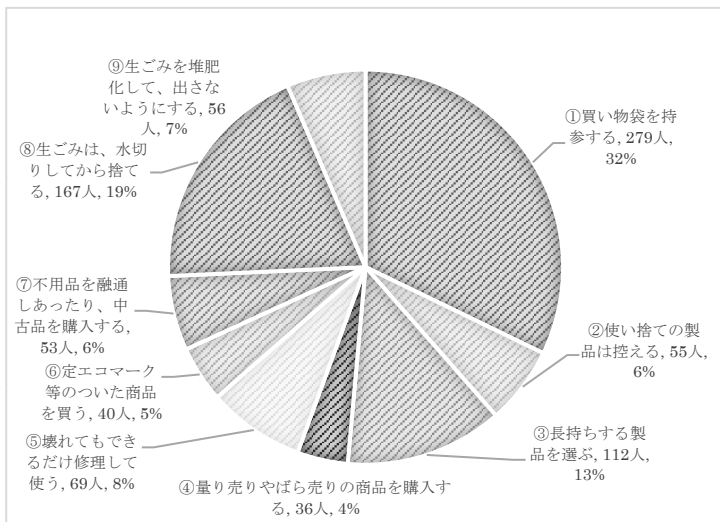
※右から市原市長、金坂様 (北野様代理)、林様、渡邊様、住田様、露崎会長

## 産業まつりのアンケート結果について

令和7年11月15日(土)、産業まつりに出展いたしました。ブースでは、リサイクルの啓発に努めるとともに、来場者にアンケート調査を行い、エコバッグやキャップーン(茂原高校 Team 茂高街塾製作)、ゴミ出しのポイントをまとめた冊子等を配布しました。

### アンケート結果(一部抜粋)

Q. 日頃の暮らしの中で、ごみ減量やリサイクルのために実践している取組はありますか？(複数選択可)



回答者 女性163名、男性67名  
計230名

## 活動報告（豊岡地区）

### 豊岡地区 活動報告

環境美化の原点は、「一人ひとりの意識と行動」にあります。そのためには、ごみがあつたら自発的に拾う行動力、日常的にごみを出さない努力が一人ひとりに求められます。

私たちの地域は17の自治会、約1300人の自治会員で構成されております。又、当地域は多くの山林を抱えており、緑豊かな風土を有している反面、不法投棄されやすい環境にあります。この豊かな風土を守るため、冒頭、述べたような行動力が求められます。具体的にはごみゼロ運動（地域清掃）の推進、不法投棄防止パトロール（不法投棄監視員）による不法投棄物、ポイ捨て等の回収、及び各自治会のリサイクル活動を通じてごみの減少に努めてまいります。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

「地域清掃で回収したごみ」



「不法投棄が多い現場」



## 新たな取組（ペットボトルキャップの回収）について

### ペットボトルキャップの回収について

茂原市では、ごみの減量化と再資源化を推進するため、令和7年7月から公共施設11か所に回収ボックスを設置し、ペットボトルキャップの拠点回収を始めています。

本委員会としても、自治会等と連携しながら、回収に取り組んでいます。拠点までの回収方法は様々ですので、参考例をご紹介します。

- ① 茂原中央地区リサイクル推進委員会  
・ 収集用袋として、耐久性に優れて雨天時にも水はけのよい「玉ねぎ用ネット」を25自治会のうち4自治会に配布した。
- ② 緑町自治会  
・ 自治会館や自治会内の公園に収集用袋を設置している。  
・ 「緑町自治会回覧」で周知を図っている。
- ③ 上茂原団地自治会  
・ 自治会館玄関前に回収袋を常設し、リサイクル推進委員が回収、集計、運搬をしている。  
・ 「会報かみもばら」で周知を図っている。

このような取り組みを通じて、3Rの推進を行うとともに、持続可能なまちづくりの実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

### ペットボトルキャップ

### 回収中です！

※注意

・ 洗浄してください  
・ 飲料用に限ります  
（調味料や油類は不可）



### ペットボトルキャップ回収します！

